

会報「石川守る会」

石川県重症心身障害児(者)を守る会
 全国重症心身障害児(者)を守る会
 石川県支部 会長 山本 衛

今年は夏の暑さに続いて、次々と台風が上陸し大きな被害が出るなど異状な年となりましたが会員みなさま、お子さま方はお変わりなくお過ごしでしょうか。

また、先日は新潟が大きな地震に見舞われ、会員の皆様の安否が気遣われます。このような大きな災害の時、障害の重い人たちのご家族の苦労は大変なものだと察しられます。

さて、本年度の秋の活動をいくつかご紹介します。ぜひ多くの方のご参加をお待ちしております。

平成16年度

感覚的体験プログラム



総会でもお知らせしたように今年度から感覚的体験プログラムに対する本部からの援助はなくなりましたが、会員みなさまのご要望が強かったので、支部独自で開催することにしました。みんなで楽しいひとときを過ごしたいと思います。

会場
日・時
講師

石川県立医王養護学校体育館

平成16年11月21日(日) 10時～15時

玉 銚 晴 美 さん 他石川県レクリエーション協会の方
 昨年も来て頂いてみんなで楽しく遊びました。今年もレクリエーション協会の方や学生さんといっしょに楽しいひとときを過ごしたいとお願いしました。

荒 井 庸 之 さん (日本ハープ協会会員)

荒 井 靖 子 さん (金沢おはなしの会)

生のハープの音色を聞かせて頂いたり、ハープの伴奏による詩の朗読やおはなしも聞かせていただけるそうです。

お二人は学校、図書館、幼稚園、公民館などにも出向いて活動しておられます。

日 程	10:00～10:15	開会・挨拶
	10:15～12:00	親子で楽しくレクリエーション
	12:00～13:30	昼食・休憩
	13:30～14:30	ハープ演奏とおはなし

会 費 2000円(昼食費を含む)・・・会員の方は石川支部より半額補助します。

*子どもさんの昼食が必要な方は300円でご用意致します。

- ◆ 当日は11月のハートポップも合同開催します。
 参加を希望される会員の方は同封のはがきで申し込んで下さい。
 会員でない方は山岸 (Tel 0761-55-1604) まで申し込んで下さい。

締切 11/10



第2回会員交流会のお知らせ

前回好評だった会員の交流会を今年も開催することにしました。入所の方も在宅の方も賛助会員の方もみんなで集まって楽しい交流をしたいと思っています。
ぜひ多数の方のご参加をお待ちしています。

日・時 平成16年12月5日(日) 12:30～

場 所 グランドホテル松任

会 費 5500円

*当日は金沢駅西口より送迎バスがでます。

バスを利用される方は12時に集合して下さい。

参加を希望される方は同封のはがきで申し込んで下さい。

締め切りは11月15日です。

研修会のお知らせ

昨年富山で開催され石川からも多数参加されたブロックの研修会が今年は静岡県浜松市で開かれます。下記に要綱をお知らせしますので参加を希望される方はすみませんが至急会長まで申し込んでください。

全国重症心身障害児(者)を守る会

東海・北陸ブロック研修会

“ 人 間 ら し く 生 き る っ て . . .
「重症児(者)福祉の向上を目指して」



期 日 平成16年11月13日(土) 12:30～
11月14日(日) ～12:00

会 場 浜松市アクティシティ・コンgresセンター

浜松市板屋町111番地の1

内 容 在宅・施設の問題点解消を考えるパネルディスカッション
および講演

講師 宮本直樹氏(厚生労働局障害福祉課課長補佐)

藤原建樹氏(静岡てんかん・神経医療センター院長)

横地健治氏(社会福祉法人・小羊学園おおぞら療育センター)

司会 小林不二也氏

巡回療育相談が実施される

久しぶりに巡回療育相談が実施されました。今回は金沢地区周辺を対象にして実施しました。

10/28 在宅の方の家庭を訪問して相談を受けました。

10/29 明和養護学校の訪問学級の方々に学校に集まって頂いて相談を受けました。
スタッフには守る会本部職員の方と医王病院の石川院長、横山看護士長、社会福祉士の西脇さんケアマネの板野さんと支部の会長・副会長があたりました。

お知らせ

- ・ 医王病院よりB型通園事業及び障害者デイケアの開始に際しての協力の要請がありました。

医王病院では平成17年7月から上記の事業を開始する予定とのことでした。

それに際してみなさんの希望や意見などを伺いたいとの連絡がありました。

重い障害の方々にとっては1つでも選択肢が増えることは喜ばしいことだと思います。実際に利用される方の意見を反映させて利用しやすいものにするためにもアンケートが配布されましたらご協力よろしくお願いします。

- ・ 全国重症児（者）を守る会40周年記念大会の報告が「両親の集い」9月号に掲載されました。

天皇陛下おことば

全国重症心身障害児（者）を守る会が創立40周年を迎え、ここに記念式典が催されることを誠に喜ばしく思います。この会は、心身に重い障害を持つ子ども、人間としての尊厳と命を守りたいという親達の切実な願いによって、昭和39年に発足しました。戦後20年近くを経た当時の我が国は、経済面では豊かになりましたが、福祉面に対する多くの人々の関心はまだ低く、重症心身障害児を持つ親達の苦労は今日からは計り知れないものがあつたと思います。苦悩を共にする親達が、厳しい状況の中で、この会を結成し、互いに手を携えて子ども達の命を大切に育んできた努力に対し、心から敬意を表します。また困難に立ち向かう親達を励まし、重い心身障害の人々を介護する関係者の献身的な活動には深く心を打たれるものがあります。

この大会に、重い心身障害の人達が親の愛に支えられて参加していることを嬉しく思います。最も弱いものをひとりもれなく守る、という理念に基づいてはじめられたこの会が、重い心身障害の人々に対する社会の理解を更に深め、それぞれの生きる道について、様々な可能性を引き出していくことを期待しております。

今後とも、多くの人々の理解と協力により、この会の活動がますます発展し、重症心身障害児者の福祉が一層充実していくことを願い、式典に寄せる言葉といたします。



会員の現況

新入会員	正会員	合田さん
正会員	賛助会員	68名 22名

- ・平成16年9月に「盲・ろう・養護学校における教員の医療的ケアに関する取りまとめ」がだされました。一部を紹介します。くわしくは「両親の集い」9月号に掲載されています。

「盲・聾・養護学校におけるたんの吸引等の医学的・法律学的整理に関するとりまとめ」(概要)

1 報告書の目的

「在宅及び養護学校における日常的な医療の医学的・法律学的整理に関する研究(平成16年度厚生労働科学研究費補助事業)」(座長:橋口範雄東京大学教授、主任研究者:島崎謙治社会保障・人口問題研究所副所長)の一環として、盲・聾・養護学校における医療のニーズの高い児童生徒等に対するたんの吸引、経管栄養及び導尿について、医学的・法律学的整理を行ったもの。

今後、さらにALS以外の在宅患者に対するたんの吸引行為についての医学的・法律学的整理に取り組んでいただく予定。

2 報告書の要旨

- 医療に関する資格を有しない者による医療は法律により禁止されているが、たんの吸引、経管栄養及び導尿については、看護師との連携・協力の下に教員がこれらの行為の一部を行うモデル事業等が、平成10年度以来文部科学省により実施されている。このモデル事業において医療安全面・教育面の成果や保護者の心理的・物理的負担の軽減効果が観察されたこと、必要な医行為のすべてを担当できるだけの看護師の配置を短期間に行うことには困難が予想されることから、このモデル事業の方式を盲・聾・養護学校全体に許容することは、医療安全の確保が確実になるような以下の要件の下では、やむを得ないものと整理した。

盲・聾・養護学校における医療の実施の要件

教員に許容される医行為の範囲を提示するとともに(別紙1)、それらを的確に実施するための体制整備の条件を提示(別紙2)

- 法的には、盲・聾・養護学校の教員が医行為を実施しても、上記要件を満たしていれば、判例の示す違法性阻却の条件(①目的の正当性、②手段の相当性、③法益衡量、④法益侵害の相対的軽微性、⑤必要性・緊急性)を満たしているものと整理した。
- 厚生労働省及び文部科学省は、実施状況の点検・評価等を通じ医療安全の確保に十分配慮し適切に対応すべき。また、この報告を踏まえ早急に取扱い方針を打ち出すべき。

・七尾病院ひまわり親の会より寄付がありました。